

内閣府 健康・医療戦略推進事務局 御中

令和 6 年度 日本における医療分野の研究開発に係 る優れた事例に関する調査及び情報発信

調査報告書

MRI 三菱総合研究所

2025 年 2 月 28 日

ヘルスケア事業本部

はじめに

平成 26 年 7 月、健康・医療戦略推進法(平成 26 年法律第 48 号)に基づき設置された健康・医療戦略推進本部(本部長:内閣総理大臣)において、健康長寿社会の形成を目的とした健康・医療戦略及び医療分野研究開発推進計画が決定された。この健康・医療戦略に規定された「国内外に向けた広報活動」に基づき、日本医療研究開発大賞が創設された。同賞については、令和 2 年に改定された健康・医療戦略において、「医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関し、その功績をたたえることにより、国民の関心と理解を深めるとともに研究者等のインセンティブを高める」ものとして明記され、これまで 6 回の表彰が行われている。

本調査は、これまでの日本医療研究開発大賞を踏まえ、さらに医療分野の研究開発に関する広報効果・研究者のインセンティブを高めることを目的として、日本における医療分野の研究開発に係る優れた事例等についての①公募等による事例の発掘、②発掘案件の内容の精査、及び③医療分野の研究開発に係る情報発信を行うものである。

目次

1. 公募等による案件発掘調査	1
1.1 デスクトップ調査等による事例の収集	1
1.2 第 7 回日本医療研究開発大賞の公募.....	10
2. 発掘案件についての精査	11
2.1 公募により発掘した案件の精査	11
3. 医療分野の研究開発に係る情報発信	13
3.1 第 7 回日本医療研究開発大賞の公募に係る情報発信	13
3.2 第 7 回日本医療研究開発大賞受賞者パンフレットの作成	13
4. 本大賞のプレゼンス向上のための課題・対応策(案)	14
添付資料.....	16

表 目次

表 1-1 デスクトップ調査項目.....	1
表 1-2 デスクトップ調査結果:一般枠(一部抜粋).....	1
表 1-3 デスクトップ調査結果:スタートアップ枠(一部抜粋).....	7
表 1-4 公募方法の概要.....	10
表 2-1 第7回日本医療研究開発大賞の審査基準	11
表 2-2 スクリーニング調査項目と調査の観点	12
表 3-1 受賞者パンフレットの構成	13
表 4-1 第7回日本医療研究開発大賞の応募資格	14
表 4-2 第7回日本医療研究開発大賞の審査基準.....	14
表 4-3 本大賞のプレゼンス向上のための課題・対応策(案)	15

1. 公募等による案件発掘調査

1.1 デスクトップ調査等による事例の収集

第6回日本医療研究開発大賞の公募要領や第1回から第6回までの日本医療研究開発大賞の受賞案件を参考に、今後日本医療研究開発大賞の各賞を受賞する可能性があるとして想定される案件について、デスクトップ調査等により事例の収集を行った(表 1-1)。結果として、一般枠 234 件、スタートアップ枠 190 件の事例を収集した。うち、一定の基準を踏まえ絞り込んだ一般枠 49 件、スタートアップ枠 31 件を以下に示す(表 1-2、表 1-3)。

調査項目として、技術・サービスの開発進捗を確認するために「成果フェーズ」「薬事承認取得状況」を設定した。既に実用化に至っている場合には、社会への貢献度を確認するために「売上高」も調査した。また、スタートアップ枠では研究開発状況と資金調達額の関係性を確認するために、「成長ステージ」を調査項目に追加した。これらの調査結果から、特に社会的インパクトや売上規模の大きさ、新規薬事承認された等の基準を踏まえ事例の絞り込みを行った。

表 1-1 デスクトップ調査項目

開発技術・サービスの概要	開発技術・サービスの内容、特長、開発進捗状況等
実施主体者	開発主体の団体・研究者名
応募枠	想定される応募枠(一般枠/スタートアップ枠)
事業カテゴリ	研究開発・技術の分野カテゴリ(医薬品/医療機器/再生医療等製品/介護・福祉/ヘルスケア/原理解明)
成果フェーズ	対象技術・サービスの研究開発状況(基礎研究/非臨床/臨床/実用化)
薬事承認	薬事承認の取得状況(未承認/申請中/特例承認/条件付き承認/承認)
成長ステージ	スタートアップ企業については、その成長ステージ(シード/アーリー/ミドル/レイト)
過去の受賞等	過去の日本医療研究開発大賞や国家栄典、関連する主要表彰の受賞歴
過去ノミネート有無	過去の日本医療研究開発大賞におけるノミネート有無

表 1-2 デスクトップ調査結果：一般枠(一部抜粋)

No.	企業・個人名	カテゴリ	研究開発・技術タイトル	調査対象ソース名
1	アストラゼネカ株式会社	医薬品	抗がん剤「イミフィンジ」	IQVIA「2023 年年間医薬品市場統計売上データ公表」< https://www.iqvia.com/ja-jp/locations/japan/newsroom/2024/02/topline-market-data >(2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
2	アストラゼネカ株式会社	医薬品	抗がん剤「タグリッソ」	IQVIA「2023 年年間医薬品市場統計売上データ公表」< https://www.iqvia.com/ja-jp/locations/japan/newsroom/2024/02/topline-market-data >(2025 年 2 月 6 日最終閲覧)

3	エーザイ株式会社	医薬品	アルツハイマー病治療薬「レカネマブ」	日経メディカル「トップジャーナルが選んだ 2023 年の注目話題」 < https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/cvdprem/lecture/komamura/202401/582717.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
4	MSD 株式会社	医薬品	抗がん剤「キイトルーダ」	IQVIA「2023 年年間医薬品市場統計売上データ公表」< https://www.iqvia.com/ja-jp/locations/japan/newsroom/2024/02/topline-market-data > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
5	MSD 株式会社	医薬品	抗ウイルス剤「ラゲブリオ」	IQVIA「2023 年年間医薬品市場統計売上データ公表」< https://www.iqvia.com/ja-jp/locations/japan/newsroom/2024/02/topline-market-data > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
6	大阪市立総医療センター 原純一	医薬品	ジヌツキシマブ(神経芽腫)	日本医療研究開発機構「国立研究開発法人日本医療研究開発機構の支援終了後に薬事承認を受けた医薬品・医療機器等に係る成果の展開状況並びに波及効果に関する試行的追跡調査」< https://www.amed.go.jp/content/000126752.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
7	大阪大学 福嶋葉子	医薬品	糖尿病網膜症の慢性化を遮断する治療法の開発	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
8	小野薬品工業株式会社	医薬品	SGLT2 阻害薬「フォシーガ」	IQVIA「2023 年年間医薬品市場統計売上データ公表」< https://www.iqvia.com/ja-jp/locations/japan/newsroom/2024/02/topline-market-data > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
9	金沢大学 後藤典子	医薬品	乳がんの再発を起こす原因細胞を解明	日本医療研究開発機構「2024 年成果情報一覧」< https://www.amed.go.jp/news/seika/2024_seika.index.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
10	京都大学 井上浩輔	医薬品	機械学習と因果推論を用いた次世代の個別医療戦略「高ベネフィット・アプローチ」の確立	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)

11	岐阜大学医学部 附属病院 小関 道夫	医薬品	シロリムス(難治性リ ンパ管異常)	日本医療研究開発機構「国立研究開 発法人日本医療研究開発機構の支 援終了後に薬事承認を受けた医薬 品・医療機器等に係る成果の展開状 況並びに波及効果に関する試行的追 跡調査」< https://www.amed.go.jp/con tent/000126752.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
12	慶應義塾大学 片岡圭亮	医薬品	先端ゲノム技術を用 いた末梢性 T 細胞性 リンパ腫における分 子病態と臨床的意義 の解明	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e- news/jams_enews_no008.pd f >(2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
13	慶應義塾大学 西山崇比古	医薬品	難治性拡張型心筋症 に対する塩基編集を 用いた新規治療基盤 の構築	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e- news/jams_enews_no008.pd f >
14	国立国際医療研 究センター 植 木浩二郎	医薬品	2 型糖尿病の分子病 態解明とそれに基づ く治療法の開発	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e- news/jams_enews_no008.pd f >(2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
15	国立がん研究セ ンター 北林一 生	医薬品	バレメスタット(再発 又は難治性の末梢性 T 細胞性リンパ腫)	日本医療研究開発機構「国立研究開 発法人日本医療研究開発機構の支 援終了後に薬事承認を受けた医薬 品・医療機器等に係る成果の展開状 況並びに波及効果に関する試行的追 跡調査」< https://www.amed.go.jp/con tent/000126752.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
16	国立精神・神経 医療研究セン ター 武田伸一	医薬品	NS-065/ NCNP- 01 ビルトラルセン (デュシェンヌ型筋ジ ストロフィー)	日本医療研究開発機構「国立研究開 発法人日本医療研究開発機構の支 援終了後に薬事承認を受けた医薬 品・医療機器等に係る成果の展開状 況並びに波及効果に関する試行的追 跡調査」< https://www.amed.go.jp/con tent/000126752.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
17	札幌医科大学 亀倉隆太	医薬品	花粉症と口腔アレルギー症候群の克服を 目指した新規治療戦 略	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e- news/jams_enews_no008.pd f >(2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
18	参天製薬株式会 社	医薬品	眼科用 VEGF 阻害剤 「アイリーア」	IQVIA「2023 年年間医薬品市場 統計売上データ公表」< https://www.iqvia.com/ja- jp/locations/japan/newsroo m/2024/02/topline-market- data >(2025 年 2 月 6 日最終閲覧)

19	武田薬品工業株式会社	医薬品	消化性潰瘍治療薬「タケキャブ」	IQVIA「2023 年年間医薬品市場統計売上データ公表」< https://www.iqvia.com/ja-jp/locations/japan/newsroom/2024/02/topline-market-data > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
20	第一三共株式会社	医薬品	抗凝固薬「リクシアナ」	IQVIA「2023 年年間医薬品市場統計売上データ公表」< https://www.iqvia.com/ja-jp/locations/japan/newsroom/2024/02/topline-market-data > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
21	中外製薬株式会社	医薬品	抗悪性腫瘍剤「アレセンサ」	中外製薬株式会社「ニュースリリースアレセンサ、ALK 陽性早期非小細胞肺癌に対する術後補助療法として日本で適応追加の承認を取得」< https://www.chugai-pharm.co.jp/news/detail/202408281600001419.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
22	中外製薬株式会社	医薬品	抗がん剤「テセントリク」	AnswersNews「2023 年企業別国内承認取得数ランキング」< https://answers.ten-navi.com/pharmanews/27382/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
23	東京医科歯科大学 森雄太郎	医薬品	患者由来オルガノイドを用いた慢性腎臓病の病態解明	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
24	東京大学 笹子敬洋	医薬品	サルコペニアをはじめとする糖尿病併存症の遺伝的背景の解明とバイオマーカーの探索	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
25	新潟大学脳研究所 小池佑佳	医薬品	単一核メチローム、トランスクリプトーム解析による孤発性筋萎縮性側索硬化症の病態解明	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
26	日本医科大学 本田一文	医薬品	膵がんリスク疾患を診断する血液バイオマーカーの体外診断用医薬品の開発、ならびにその実用化	日本医療研究開発機構「2024 年成果情報一覧」< https://www.amed.go.jp/news/seika/2024_seika.index.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
27	広島大学 今岡祐輝	医薬品	新規肝臓内免疫スコアの開発と消化器癌症例への臨床的応用	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
28	理化学研究所 石垣和慶	医薬品	関節リウマチの発症に関わる T 細胞受容体の配列パターンの同定	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)

29	朝日インテック株式会社(朝日サージカルロボティクス株式会社)	医療機器	助手の役割に特化させた手術支援ロボット	国立がん研究センター「プレスリリース:新コンセプトの腹腔鏡手術支援ロボット「ANSUR サージカルユニット」医療機器承認」< https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2023/0323/index.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
30	大阪府立大学 切畑光統 ステラファーマ株式会社	医療機器	ホウ素中性子補足療法(BNCT)システム NeuCure	日本医療研究開発機構「国立研究開発法人日本医療研究開発機構の支援終了後に薬事承認を受けた医薬品・医療機器等に係る成果の展開状況並びに波及効果に関する試行的追跡調査」< https://www.amed.go.jp/content/000126752.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
31	熊本大学 讃岐 徹治	医療機器	チタンブリッジ(甲状腺軟骨形成術 2 型)	日本医療研究開発機構「国立研究開発法人日本医療研究開発機構の支援終了後に薬事承認を受けた医薬品・医療機器等に係る成果の展開状況並びに波及効果に関する試行的追跡調査」< https://www.amed.go.jp/content/000126752.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
32	国立循環器病研究センター 白石公	医療機器	リアルとバーチャルの融合により小児心臓外科手術を支援する新しい心臓シミュレータの開発	内閣府「第 6 回日本オープンイノベーション大賞について」< https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/2023.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
33	筑波大学 熊田 博明	医療機器	難治性脳腫瘍(初発膠芽腫)に対する加速器を使った次世代治療 BNCT の医師主導治験を開始	日本医療研究開発機構「2024 年成果情報一覧」< https://www.amed.go.jp/news/seika/2024_seika.index.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
34	東京女子医科大学	医療機器	安全性と医療効率の向上を両立するスマート治療室の開発と遠隔手術支援への応用	東京女子医科大学「プレスリリース:「スマート治療室」のハイパーモデルが臨床研究開始」< https://www.twmu.ac.jp/ABMES/FATS/report/nwes20190403/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
35	東京大学 小池 進介	医療機器	脳画像データによる精神病発症を判別する機械学習器を開発	日本医療研究開発機構「2024 年成果情報一覧」< https://www.amed.go.jp/news/seika/2024_seika.index.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)

36	東京大学(株式会社 Kompath)	医療機器	術前と術中をつなぐスマート手術ガイドソフトウェアの開発	東京大学医学部附属病院「プレスリリース:深層学習技術を応用した手術検討ソフトウェアでクラスⅡの医療機器の認証を取得」< https://www.h.u-tokyo.ac.jp/press/_icsFiles/afieldfile/2021/05/10/release_20210510.pdf >(2025年2月6日最終閲覧)
37	株式会社イノテック	再生医療等製品	クラウド型再生医療細胞品質管理システム「AiCELLEX」の開発事業	経済産業省「第10回ものづくり日本大賞」< https://www.monodzukuri.meti.go.jp/ >(2025年2月6日最終閲覧)
38	合同会社オーリオンバイオテック・ジャパン	再生医療等製品	水疱性角膜症の治療に用いる培養ヒト角膜内皮細胞製品「ビズノバ」	再生医療.net「【2023年】再生医療業界のできごとを振り返る」< https://saiseiiryo.net/2023news/ >(2025年2月6日最終閲覧)
39	大阪大学 西田幸二	再生医療等製品	難治性眼疾患に対する基礎研究から新規再生医療の開発と実用化	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf >(2025年2月6日最終閲覧)
40	京都大学 iPS 細胞研究所 出口清香	再生医療等製品	間質流の再現によるオンチップでの小腸組織構造の構築	日本再生医療学会「学会賞各賞」< https://www.jsrm.jp/activity/awards/ >(2025年2月6日最終閲覧)
41	東京慈恵会医科大学 横尾隆	再生医療等製品	異種胎仔腎臓を足場とした iPS 細胞由来腎臓再生による抜本的腎不全治療法開発	日本再生医療学会「学会賞各賞」< https://www.jsrm.jp/activity/awards/ >(2025年2月6日最終閲覧)
42	東京大学 藤堂具紀	再生医療等製品	G47Δ テセルパツルブ(悪性脳腫瘍(神経膠腫))	日本医療研究開発機構「国立研究開発法人日本医療研究開発機構の支援終了後に薬事承認を受けた医薬品・医療機器等に係る成果の展開状況並びに波及効果に関する試行的追跡調査」< https://www.amed.go.jp/content/000126752.pdf >(2025年2月6日最終閲覧)
43	株式会社ヘリオス/住友ファーマ株式会社	再生医療等製品	他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞のフェーズ 1/2 試験の開始	再生医療.net「【2023年】再生医療業界のできごとを振り返る」< https://saiseiiryo.net/2023news/ >(2025年2月6日最終閲覧)
44	北海道大学 山田勝久	再生医療等製品	椎間板性疼痛に対する超高純度間葉系幹細胞とソフトバイオマテリアルを用いたリバーストランスレショナルアプローチ	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf >(2025年2月6日最終閲覧)
45	大阪医科薬科大学 西岡大輔	ヘルスケア	機械学習の手法を用いた生活保護受給者への効果的な健康支援アルゴリズムの開発	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews.no008.pdf >(2025年2月6日最終閲覧)

46	順天堂大学 谷川武	ヘルスケア	国民の健康・安全に資する睡眠面からの予防医学研究の推進	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews_no008.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
47	慶應義塾大学 本田賢也	原理解明	健康寿命伸長に向けた腸内細菌動作原理の理解とその応用	日本医療研究開発機構「基金事業課ムーンショット型研究開発事業」< https://www.amed.go.jp/program/list/18/03/001.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
48	東北大学加齢医学研究所 小川亜希子	原理解明	RNA 修飾を基軸とした生体恒常性維持の解明	日本医学会「e-NewsNo.8」< https://jams.med.or.jp/e-news/jams_enews_no008.pdf > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
49	名古屋大学 西川博嘉	原理解明	慢性炎症の制御によるがん発症ゼロ社会の実現	日本医療研究開発機構「基金事業課ムーンショット型研究開発事業」< https://www.amed.go.jp/program/list/18/03/001.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)

表 1-3 デスクトップ調査結果:スタートアップ枠(一部抜粋)

No.	企業・個人名	カテゴリ	研究開発・技術タイトル	調査対象ソース名
1	ファイメクス株式会社	医薬品	Trib を標的とする急性骨髄性白血病の創薬研究	日本医療研究開発機構「令和 4 年度「医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE)」(第 7 回)の採択課題について」< https://www.amed.go.jp/koubo/17/01/1701C_00002.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
2	株式会社 FerropoCure	医薬品	世界初のフェロトーシス創薬の実現	科学技術振興機構「大学ベンチャー表彰 2023 年受賞者一覧」< https://www.jst.go.jp/aas/award.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
3	株式会社ブレイゾン・セラピューティクス	医薬品	薬物送達システムプラットフォーム「Brain Access®」	株式会社ファストトラックイニシアティブ「Portfolio 投資先企業」< https://www.fti-jp.com/portfolio/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
4	リジェネフロ株式会社	医薬品	iPS 細胞由来 ADPKD 病態モデルを用いた新規化合物の探索及び非臨床 POC の獲得	日本医療研究開発機構「令和 4 年度「医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE)」(第 7 回)の採択課題について」< https://www.amed.go.jp/koubo/17/01/1701C_00002.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
5	アイリス株式会社	医療機器	日本初の AI 医療機器「nodoca」	Medtec Japan「Award Medtec イノベーション大賞」< https://medtecjapan.com/medtec-innovation-award/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)

6	インスタリム株式会社	医療機器	3D×AIによる、超低価格・高品質な義足・義肢装具のデジタル製造ソリューションの開発	中小企業基盤機構「第24回 JAPAN VENTURE AWARDS 受賞者一覧」< https://j-venture.smrj.go.jp/entry/nominate.html > (2025年2月6日最終閲覧)
7	株式会社インテグリティヘルスケア	医療機器	オンライン診療やデジタル疾患管理ソリューション等の医療DX関連システムの構築	株式会社インテグリティヘルスケア「サービスラインナップ」< https://www.integrity-healthcare.co.jp/service > (2025年2月6日最終閲覧)
8	OUI Inc.(株式会社 OUI)	医療機器	スマホ医療機器・遠隔診療プラットフォーム・診断AIを組み合わせた新しい眼科診断	中小企業基盤整備機構「第24回 JAPAN VENTURE AWARDS 受賞者一覧」< https://j-venture.smrj.go.jp/entry/nominate.html > (2025年2月6日最終閲覧)
9	株式会社 Cardio Flow Design	医療機器	非造影拍動追跡型 4D Flow MRI 解析システムの開発	株式会社 Cardio Flow Design< https://cfd.life/itflow/ > (2025年2月6日最終閲覧)
10	株式会社 CureApp	医療機器	ニコチン依存症、高血圧症に関する治療アプリ	経済産業省「日本スタートアップ大賞2023」の表彰式を行いました！< https://www.meti.go.jp/press/2023/06/20230609006/20230609006.html > (2025年2月6日最終閲覧)
11	ソニア・セラピューティクス株式会社	医療機器	集束超音波による低侵襲がん治療機器	FTI「Portfolio 投資先企業」< https://www.fti-jp.com/portfolio/ > (2025年2月6日最終閲覧)
12	株式会社 Medii	医療機器	医師専用オンライン専門医相談サービス「E-コンサル」	株式会社ファストトラックイニシアティブ「Portfolio 投資先企業」< https://www.fti-jp.com/portfolio/ > (2025年2月6日最終閲覧)
13	リバーフィールド株式会社	医療機器	世界初の「力覚」を再現した手術支援ロボット	リバーフィールド株式会社「Saroa」< https://www.riverfieldinc.com/products/p04/ > (2025年2月6日最終閲覧)
14	株式会社 iXgene	再生医療等製品	ゲノム編集により自殺遺伝子を導入したiPS細胞由来の神経幹細胞を用いた難治性脳疾患に対する新規遺伝子細胞治療方法の開発	厚生労働省「JHVS Venture Awards 2023 審査結果発表」< https://mediso.mhlw.go.jp/topics_page/20231030-02/ > (2025年2月6日最終閲覧)
15	株式会社 A-SEEDS	再生医療等製品	固形がんも視野に入れた遺伝子改変免疫細胞療法の実用化	株式会社 A-SEEDS「わたしたちの技術 ピギーバックトランスポゾン法を用いた、CART-T細胞療法の開発」< https://www.a-seeds.co.jp/technology/#index01 > (2025年2月6日最終閲覧)

16	クオリプス株式会社	再生医療等製品	iPS 細胞由来心筋シート開発	再生医療.net「【2023 年】再生医療業界のできごとを振り返る」< https://saiseiiryo.net/2023news/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
17	慶應義塾大学 福田恵一 (Heartseed 株式会社)	再生医療等製品	難治性重症心不全に対する再生心筋細胞移植による新規治療法の確立と産業化	日本再生医療学会「学会賞各賞」< https://www.jsrm.jp/activity/awards/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
18	ケイファーマ	再生医療等製品	脊髄損傷や脳梗塞等の再生医療事業と、神経難病などを対象とした iPS 創薬事業	DCI パートナース株式会社「News」< https://www.daiwa-inv.co.jp/dcip/news/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
19	Shinobi Therapeutics, Inc.	再生医療等製品	"Katana" iPS-T 細胞療法プラットフォーム	株式会社ファストトラックイニシアティブ「Portfolio 投資先企業」< https://www.fti-jp.com/portfolio/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
20	株式会社 GAIA BioMedicine	再生医療等製品	固形がん分野における世界最先端の細胞医薬品	株式会社 GAIA BioMedicine「Technology Core Technology I」< https://gaia-biomed.com/technology/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
21	株式会社セルージュ	再生医療等製品	iPS 細胞を利用した新しい角膜再生医療	中小企業基盤整備機構「第 24 回 JAPAN VENTURE AWARDS 受賞者一覧」< https://j-venture.smrj.go.jp/entry/nominate.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
22	ノイルイミューン・バイオテック株式会社	再生医療等製品	固形がんに対する CAR-T 細胞療法の開発	再生医療.net「【2023 年】再生医療業界のできごとを振り返る」< https://saiseiiryo.net/2023news/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
23	PuREC 株式会社	再生医療等製品	高純度間葉系幹細胞 (REC)	株式会社ファストトラックイニシアティブ「Portfolio 投資先企業」< https://www.fti-jp.com/portfolio/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
24	株式会社メトセラ	再生医療等製品	心臓内幹細胞を用いた小児先天性心疾患患者に対する治療法の開発	日本医療研究開発機構「令和 4 年度「医療研究開発革新基盤創成事業 (CiCLE)」(第 7 回)の採択課題について」< https://www.amed.go.jp/koubo/17/01/1701C_00002.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
25	レストアビジョン	再生医療等製品	網膜色素変性症に対する視覚再生遺伝子治療薬	anri「Companies」< https://anri.vc/companies/category/healthcare > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
26	株式会社アイセック	ヘルスケア	健康経営や健康教育に関するシステム開発、データ分析支援	株式会社アイセック「アイセックの事業」< https://iseq.co.jp/business/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)

27	株式会社 Welby	ヘルスケア	「Welby マイカルテ」等の PHR プラットフォーム	株式会社 Welby「SERVICE」 < https://welby.jp/service/ > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
28	株式会社おいしい健康	ヘルスケア	病気の予防・管理、ダイエットなどを目的とした、管理栄養士監修のレシピ検索・献立作成サービス	株式会社おいしい健康「お知らせ 経済産業省「日常生活における PHR を活用したユースケース創出に向けた実証調査事業」に採択」 < https://corp.oishi-kenko.com/news/20240912.html >(2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
29	fermata 株式会社	ヘルスケア	自宅で使える妊活サポート IoT デバイス「Kegg」	経済産業省「スタートアップ育成プログラム「J-Startup」2023 年選定企業発表」 < https://www.meti.go.jp/policy/newbusiness/j-startup2023.pdf >(2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
30	イチロウ株式会社	介護・福祉	介護保険適用外でのオーダーメイド訪問介護サービス	イチロウ株式会社「サービス内容」 < https://ichirou.co.jp/service/ >(2025 年 2 月 6 日最終閲覧)
31	宇都宮大学 金成慧	介護・福祉	視運動性眼振・瞳孔反応を用いたヒトの注意状態推定による障害者のためのコミュニケーション支援	科学技術振興機構「研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム START プロジェクト推進型起業実証支援 設立ベンチャー」< https://www.jst.go.jp/start/entre-demo/startup.html > (2025 年 2 月 6 日最終閲覧)

1.2 第 7 回日本医療研究開発大賞の公募

日本医療研究開発大賞の各賞について、内閣府が定めた選考基準、審査項目に基づき、優れた事例の収集を行うために、公募を行った(表 1-4)。公募に当たっては、公募要項、応募様式、公募案内ウェブサイト等の作成、応募受付・問い合わせ対応、応募案件の情報整理を実施した。結果として、一般枠 30 件、スタートアップ枠 42 件の応募を受理した。

表 1-4 公募方法の概要

公募期間	2024 年 6 月 17 日(月)～2024 年 8 月 7 日(水)17:00
応募受付方法	● 公募案内ウェブサイトを作成し、当該サイト内にエントリーフォームを設置 ● 応募様式(一般枠、スタートアップ枠の 2 種類)に必要な事項を記入し、エントリーフォームへアップロードすることで応募完了
問い合わせ対応方法	電話・メール

2. 発掘案件についての精査

2.1 公募により発掘した案件の精査

公募により発掘した応募案件の中から、公募要項に記載された基準に即して内容の優劣についての評価(案)の検討、応募様式に記載された内容の事実関係や類似の研究開発の状況・知財に係る係争の有無等のスクリーニング調査を必要に応じて実施した(表 2-1、表 2-2)。これらの評価・調査を踏まえ、特に内容が優れ日本医療研究開発大賞の各賞を受賞するに適すると考えられる案件を推薦するため、一般枠、スタートアップ枠それぞれ 15 件程度を比較検討可能な形式で整理した。

表 2-1 第 7 回日本医療研究開発大賞の審査基準

一般枠	● 医療分野の研究開発やその実用化による革新性・先導性 ■ 医療分野の研究開発やその実用化において、画期的・重要な成果を収めているもの、又は先導的な取組を行っているもの ● 社会への貢献 - 次のいずれか又は複数の項目に該当する事例であること ■ 科学技術・学術の振興に顕著な寄与をしているもの ■ 社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に顕著な寄与をしているもの ■ 経済及び産業の発展に顕著な寄与をしているもの
スタートアップ枠	● 革新性 ■ 事業や業績及びその基礎となる医療分野の研究開発やその実用化に革新性(独自性や新規性)があるもの ● 社会への貢献 ■ 研究開発やその実用化及び研究開発を基にした事業が、国内外の医療の進展、研究開発成果の普及・社会実装など社会への貢献を果たすもの ● 成長性及び将来性 ■ 今後の社会への貢献の拡大や将来性が大きく期待されるもの
両枠共通の留意事項	● 既に国家栄典(叙勲、褒章)を受けている方、外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方は受賞対象外。ただし、中央省庁またはその他の機関(地方自治体、業界団体等)による表彰制度の受賞者は対象に含む ● 人材育成、基盤的な技術の開発、スタートアップ等の事業化支援などの研究開発のための環境整備や研究開発成果の普及の取組を含む

出所:第 7 回日本医療研究開発大賞公募要項より作成

表 2-2 スクリーニング調査項目と調査の観点

成果フェーズ	対象技術・サービスの研究開発状況(基礎研究／非臨床／臨床／実用化)
薬事承認	薬事承認の取得状況(未承認／申請中／特例承認／条件付き承認／承認)
成長ステージ	スタートアップ企業については、その成長ステージ(シード／アーリー／ミドル／レイター)
類似技術・関係者	開発の元になったシーズ技術や、応募案件に関する共同研究先等
過去受賞歴	応募者における、過去の日本医療研究開発大賞、国家栄典等の受賞歴
過去ノミネート有無	過去の日本医療研究開発大賞におけるノミネート有無

3. 医療分野の研究開発に係る情報発信

3.1 第7回日本医療研究開発大賞の公募に係る情報発信

一般枠、スタートアップ枠それぞれの応募案件増加、及び受賞の可能性が高い案件が応募されることを目的とし、以下の情報発信を実施した。

- ワイヤリングサービスによる内閣府プレスリリース(公募開始案内)の各種メディアへの拡散
- 医療分野の関連団体への広報協力依頼
 - 公式ウェブサイトへの掲載依頼
 - メールマガジン発信依頼
 - 所属組織・会員等へのメール等による案内依頼
- 内閣府 SNS への投稿文章作成支援
- 公募案内に関するチラシ作成

3.2 第7回日本医療研究開発大賞受賞者パンフレットの作成

第7回日本医療研究開発大賞の受賞者の研究開発概要や受賞のポイントをわかりやすく紹介するための受賞者パンフレットを作成した。主な作成手順は以下のとおり。

- 受賞者パンフレットのデザイン及びレイアウトの決定(構成は表 3-1 を参照)
- 「受賞者紹介」原稿作成及び受賞者への照会
- 受賞者への照会結果の反映

表 3-1 受賞者パンフレットの構成

表紙	—
第7回日本医療研究開発大賞概要	大賞の趣旨、表彰の種類、選考委員一覧
	内閣総理大臣、健康・医療戦略担当大臣からの祝辞
	受賞者一覧(「賞名」、「受賞団体・受賞者名」、「タイトル」を掲載)
受賞者紹介	各受賞者について、「功績概要・受賞のポイント」、「概要」を記載
裏表紙	—

4. 本大賞のプレゼンス向上のための課題・対応策(案)

本委託事業の実施を通し、本大賞のプレゼンス向上のための課題・対応策(案)を整理した。本大賞のプレゼンス向上のための課題は以下 3 点が挙げられる。

- 本大賞の認知度が低く、今後応募件数が先細りする可能性が高い
- 受賞対象は広範である一方、多様な対象に本大賞の応募資格があることをリーチできていない
- 女性応募者が非常に少なく、女性受賞者が過去に存在しない

1 点目について、本大賞はこれまでに計 7 回開催されたが、第 1-5 回までは推薦制、第 6-7 回は公募制となっており、公募制となってからまだ 2 年目であることから認知度が低いことが指摘できる。

2 点目について、本大賞の応募資格及び審査基準は表 4-1、表 4-2 となっており、「医療分野において、研究開発やその実用化を行っている法人もしくは個人」であれば広く応募が可能である一方、第 7 回の一般枠応募者数は 30 件(うち企業 14 件、アカデミア 16 件)、スタートアップ枠応募者数は 42 件であったことから、特に一般枠の対象である企業、アカデミアへのリーチを拡大させる必要がある。

表 4-1 第 7 回日本医療研究開発大賞の応募資格

- 一般枠
 - 医療分野において、研究開発やその実用化(研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む)を行っている法人もしくは個人^{※1※2}
 - 我が国に何らかの拠点があること(我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること)
- スタートアップ枠
 - 医療分野において、研究開発やその実用化(研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む)を行っている法人もしくは個人
 - 我が国に何らかの拠点があること(我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること)
 - エントリー時点で、創業^{※3}または医療分野の研究開発に係る新規事業立ち上げ後、概ね 15 年以内の法人または個人であること

出所:第 7 回日本医療研究開発大賞公募要項

※1 既に国家栄典(叙勲、褒章)を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁またはその他の機関(地方自治体、業界団体等)による表彰制度の受賞者は対象となります。

※2:過去の日本医療研究開発大賞受賞者は、同一の事例では受賞対象とはなりません。

※3:社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含みます。

表 4-2 第 7 回日本医療研究開発大賞の審査基準

- 一般枠
 - (1)医療分野の研究開発やその実用化^{※1}による革新性・先導性
医療分野の研究開発やその実用化において、画期的・重要な成果を収めているもの、又は先導的な取組を行っているもの
 - (2)社会への貢献
次のいずれか又は複数の項目に該当する事例であること
 - ①科学技術・学術の振興に顕著な寄与をしているもの
 - ②社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に顕著な寄与をしているもの

③経済及び産業の発展に顕著な寄与をしているものスタートアップ枠

● スタートアップ枠

- (1)革新性
事業や業績及びその基礎となる医療分野の研究開発やその実用化に革新性(独自性や新規性)があるもの
- (2)社会への貢献
研究開発やその実用化及び研究開発を基にした事業が、国内外の医療の進展、研究開発成果の普及・社会実装など社会への貢献を果たすもの
- (3)成長性及び将来性
今後の社会への貢献の拡大や将来性が大きく期待されるもの

出所:第7回日本医療研究開発大賞公募要項

※1 人材育成、基盤的な技術の開発、スタートアップ等の事業化支援などの研究開発のための環境整備や研究開発成果の普及の取組を含みます。

3点目について、第1-6回の全受賞者のうち、女性研究者もしくは女性スタートアップ代表者が応募者である対象は存在しなかった。

これら3点の課題への対応策(案)を表4-3のとおり整理した。1点目の「本大賞の認知度が低く、今後応募件数が先細りする可能性が高い」という課題への対応策(案)は、本大賞の認知度向上策として誰でも参加可能な広報イベントの実施、情報発信用コンテンツの拡充策として表彰式アーカイブ、受賞者インタビューの動画もしくはレポート公開を挙げた。2点目の「受賞対象は広範である一方、多様な対象に本大賞の応募資格があることをリーチできていない」という課題への対応策(案)は、アカデミアやスタートアップの応募件数を増加させる取組として所属員や会員等への応募勧奨をねらいとした学会、VC等への説明機会の設定(「全国キャラバン」の実施)、情報発信協力依頼を挙げた。3点目の「研究者もしくはスタートアップ代表者である女性応募者が非常に少なく、女性受賞者は過去に存在しない」という課題への対応策(案)は、応募対象となりうる女性研究者等の実態調査を実施のうえ本大賞での奨励方法を検討することを挙げた。

表 4-3 本大賞のプレゼンス向上のための課題・対応策(案)

課題	対応策(案)
本大賞の認知度が低く、今後応募件数が先細りする可能性が高い	● 公募開始前に本大賞の概要、受賞対象等を応募者向けに説明する「公募説明会」等広報イベントの実施 ● 表彰式アーカイブ(動画もしくは写真付きレポート)の公開 ● 受賞者インタビューの実施と動画もしくは写真付きレポートの公開
受賞対象は広範である一方、多様な対象に本大賞の応募資格があることをリーチできていない	● 公募開始前に本大賞の概要、受賞対象等をアカデミア、スタートアップ支援機関へ説明する「全国キャラバン」の実施 ● アカデミアは学会等、スタートアップは VC 等へ公募の情報発信協力を依頼
研究者もしくはスタートアップ代表者である女性応募者が非常に少なく、女性受賞者は過去に存在しない	● 本大賞での女性研究者・スタートアップ代表者の奨励方法を検討 ■ 応募対象となりうる女性研究者数等の実数把握 ■ 女性研究者等における本大賞の認知度等の把握

添付資料

- 第 7 回日本医療研究開発大賞公募要項
- 応募様式(一般枠・スタートアップ枠)
- 第 7 回日本医療研究開発大賞公募開始のご案内(公募開始案内チラシ)
- 第 7 回日本医療研究開発大賞受賞者パンフレット

令和 6 年度 日本における医療分野の研究開発に係る優れた事例に関する調査及び情報発信
調査報告書

2025 年 2 月

株式会社三菱総合研究所
ヘルスケア事業本部

第 7 回日本医療研究開発大賞 公募要項

令和 6 年 6 月

【目次】

1. 日本医療研究開発大賞概要.....	- 2 -
■ 表彰の種類.....	- 2 -
2. 応募資格・審査基準.....	- 3 -
■ 一般枠.....	- 3 -
■ スタートアップ枠.....	- 4 -
3. 応募・選考方法.....	- 5 -
■ 応募期間.....	- 5 -
■ 選考及び審査の方法.....	- 6 -
4. 審査結果の通知方法.....	- 6 -
5. エントリーにあたっての留意事項.....	- 6 -
6. 情報の取り扱いについての確認事項.....	- 7 -
7. 反社会的勢力の排除.....	- 8 -
8. お問い合わせ先.....	- 8 -

1. 日本医療研究開発大賞概要

日本医療研究開発大賞は、大学、公的研究機関、企業等における医療分野の研究開発やその成果の実用化において、画期的・重要な成果を収める、先導的な取組を行うなど、研究開発の推進に多大なる貢献をした事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の医療分野の研究開発の更なる進展に寄与することを目的とした表彰制度です。

「健康・医療戦略（閣議決定）」及び「医療分野研究開発推進計画（健康・医療戦略推進本部決定）」の下、平成 29 年度より実施しており、今回で 7 回目となります。

■ 表彰の種類

一般枠^{※1}

表彰名	選定数 ^{※2}	表彰対象
内閣総理大臣賞	1 件	極めて顕著な功績が認められる事例
健康・医療戦略担当大臣賞	1 件	特に顕著な功績が認められる事例
文部科学大臣賞	1 件	科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績が認められる事例
厚生労働大臣賞	1 件	社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進の視点から特に顕著な功績が認められる事例
経済産業大臣賞	1 件	経済及び産業の発展の視点から特に顕著な功績が認められる事例

スタートアップ枠

表彰名	選定数 ^{※2}	表彰対象
スタートアップ賞 (健康・医療戦略担当大臣表彰)	1 件	スタートアップとして、特に顕著な功績と将来性が期待される事例
ファイナリスト (奨励賞)	数件	現時点ではスタートアップ賞の水準に達しないものの、将来性が期待される優れた事例

※1：上記の賞のほか、日本医療研究開発機構（AMED）理事長賞を数件表彰する予定です。AMED 理事長賞は、これまでに AMED が支援を行った事例のうち、若手研究者等を奨励する観点から顕著な功績があった事例を、AMED からの推薦を踏まえて選考します。

※2：選考の結果、基準を満たす案件が無い場合には、該当事例なしとする場合があります。また 1 件あたりの受賞者数は 3 名（3 団体）までとします。

2. 応募資格・審査基準

1.の「表彰の種類」に記載の通り、一般枠とスタートアップ枠の2つの枠を設けておりますので、いずれかひとつの枠を選択して応募いただくようお願いします。応募資格、審査基準はそれぞれの枠で異なりますので、下記の該当する箇所を参照ください。

■ 一般枠

【応募資格】

- 医療分野において、研究開発やその実用化（研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む）を行っている法人もしくは個人※3※4
- 我が国に何らかの拠点があること（我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること）

※3：既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁またはその他の機関（地方自治体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。

※4：過去の日本医療研究開発大賞受賞者は、同一の事例では受賞対象とはなりません。

【審査基準】

- 日本医療研究開発大賞（一般枠）では、以下の基準により優れていると評価される事例を表彰します。

（1）医療分野の研究開発やその実用化による革新性・先導性

医療分野の研究開発やその実用化※5において、画期的・重要な成果を収めているもの、又は先導的な取組を行っているもの

（2）社会への貢献

次のいずれか又は複数の項目に該当する事例であること

- ①科学技術・学術の振興に顕著な寄与をしているもの
- ②社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に顕著な寄与をしているもの
- ③経済及び産業の発展に顕著な寄与をしているもの

※5：人材育成、基盤的な技術の開発、スタートアップ等の事業化支援などの研究開発のための環境整備や研究開発成果の普及の取組を含みます。

■ スタートアップ枠

【応募資格】

- 医療分野において、研究開発やその実用化（研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む）を行っている法人もしくは個人※6
- 我が国に何らかの拠点があること（我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること）
- エントリー時点で、創業※7または医療分野の研究開発に係る新規事業立ち上げ後、概ね15年以内の法人または個人であること

※6：既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁またはその他の機関（地方自治体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。

※7：社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含みます。

【審査基準】

- 日本医療研究開発大賞（スタートアップ枠）では、以下の基準により優れていると評価される事例を表彰します。

（１）革新性

事業や業績及びその基礎となる医療分野の研究開発やその実用化※8に革新性（独自性や新規性）があるもの

（２）社会への貢献

研究開発やその実用化及び研究開発を基にした事業が、国内外の医療の進展、研究開発成果の普及・社会実装など社会への貢献を果たすもの

（３）成長性及び将来性

今後の社会への貢献の拡大や将来性が大きく期待されるもの

※8：人材育成、基盤的な技術の開発、スタートアップ等の事業化支援などの研究開発のための環境整備や研究開発成果の普及の取組を含みます。

3. 応募・選考方法

- 以下の公募案内ウェブサイトへアクセスし、記載内容をよくご確認ください。
公募案内ウェブサイト：
<https://pubpjt.mri.co.jp/publicoffer/20240614.html>
- 一般枠、スタートアップ枠のいずれかひとつを選択して応募ください。両枠への重複応募はできません。
 - ◇ 自薦、他薦いずれも応募可能です。エントリーフォーム、応募様式に必要事項をご記入ください。他薦の場合には、応募者(選考対象)と推薦者で十分に調整をしたうえで応募してください。
- 公募案内ウェブサイト上から、「公募要項」、「応募様式(一般枠、スタートアップ枠いずれか一方)」をダウンロードしてください。
- 公募案内ウェブサイト中に掲載されているエントリーフォーム URL にアクセスし、以下の操作を行ってください。
エントリーフォーム URL：
<https://mri-project.smtg.jp/public/application/add/20930>
 - ◇ エントリーフォームに必要事項を入力してください。
 - ◇ 公募案内ウェブサイト上からダウンロードした「応募様式」に必要事項を記入のうえ、エントリーフォームにアップロードしてください(郵送による応募は受け付けておりません)。
 - ◇ エントリーフォームの「登録する」ボタンをクリックしてください。応募受付が正常に完了した場合は「応募受付完了」メールが送付されます。もし本メールが届かない場合は、下記「8.お問い合わせ先」のメールアドレスまでお問い合わせください。
 - ◇ エントリーフォームへの入力内容は途中保存をすることができません。 予め、入力内容を十分ご検討いただきますようお願いいたします。
 - ◇ 入力内容に不備がある場合には、再提出をお願いすることがあります。
 - ◇ なお、必要に応じ、事業内容やビジネスモデルが分かる資料の追加提出や、応募内容に関する聞き取り調査を行う場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

■ 応募期間

2024 年 6 月 17 日 (月) ～2024 年 7 月 31 日 (水) 17:00

■ 選考及び審査の方法

- 提出書類を元に、事務局及び関係府省による予備選考を経た後、有識者等で構成される選考委員会による審査を経て、受賞者の選出を行います。

4. 審査結果の通知方法

- 審査結果は、受賞者に直接通知します。選外となったものについては特に通知は致しません。なお、審査結果に関する問い合わせには一切お答えしかねますので、ご了承ください。
- 2024 年冬頃に審査結果を内閣府ホームページ等で発表するとともに、表彰式を開催する予定です。表彰式については、受賞者の方に直接ご連絡します。

5. エントリーにあたっての留意事項

その他の留意事項は以下の通りです。事前のご確認をお願いいたします。

- 提出いただいた資料は返却いたしませんので、予めコピーをとる等控えをご準備ください。
- 提出いただいた資料のほか、審査において必要となる資料（例えば、関連する知財のリスト、共同研究の実績等）について、事務局より追加的にご提出をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。
- 応募者は、本プログラムに応募するにあたって、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権等の知的財産権並びに営業秘密及びノウハウ等の法的保護を受けられる情報について、予め自らの費用と責任において対策を講じた上で、一般に公表しても差し支えない内容のものを事務局に提出してください。事務局及び審査関係者は、これらの法的権利や法的保護措置等については、一切の責任を負担いたしません。
- 本プログラムへの応募に関して、審査関係者に対する働きかけを行った場合には、審査対象外あるいは受賞取り消しとします。
- 本公募要項に違反する事実、アイデアの盗用その他不正があった応募や受賞については、審査対象外あるいは受賞取り消しとする場合があります。
- 表彰式の様子は記録用として撮影させていただき、後日撮影した映像を HP 等で公開することがありますので、予めご了承のうえ応募してください。
- 主催者は、法令の改正その他の理由により、この公募要項及び本プログラムの内容を変更することがあります。

6. 情報の取り扱いについての確認事項

1) 個人情報の取り扱い方針

(ア) 応募者情報に含まれる個人情報は、内閣府が定める「2) 個人情報の利用目的」以下の方針に従い、内閣府から業務委託を受ける株式会社三菱総合研究所及びエム・アール・アイビジネス株式会社が適切に取り扱います。

(イ) 応募申し込みの際に入力いただくエントリーフォームは、株式会社シャノンの情報処理システムサービスを利用し、株式会社三菱総合研究所及び株式会社三菱総合研究所の子会社であるエム・アール・アイビジネス株式会社が運営します。

2) 個人情報の利用目的

(ア) 応募者情報に含まれる個人情報は、第7回日本医療研究開発大賞の各賞についての書類審査、聞き取り調査、審査結果の公表、表彰式の開催、その他本賞の運営・実施に必要な目的に利用します。また、審査終了後は応募内容の照会等における連絡手段として利用します。

応募書類に記載された個人情報その他の情報は、上記以外の目的には使用いたしません。

3) 2)の個人情報の利用目的の範囲内において、第三者に応募者情報（個人情報を含みます）の取り扱いを委託することがあります。

その場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約等によって個人情報等の保護水準を守るよう定め、個人情報等を適切に取り扱います。

4) 個人情報等の第三者提供

(ア) 第7回日本医療研究開発大賞に関してご提出いただく応募者の企業情報、事業内容等（以下「応募者情報」といいます。）は、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）、内閣府の選定する本賞の審査関係者に、以下の通り第三者提供いたします。

- ① 第三者に提供する目的：日本医療研究開発大賞における各賞の審査のため
- ② 提供する個人情報の項目；氏名、企業／ご所属名、メールアドレス、電話番号
- ③ 提供の手段又は方法：電子ファイルによる提供
- ④ 提供先：文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国立研究開発法人日本医療研究開発機構、内閣府の選定する本賞の審査関係者
- ⑤ 個人情報の取扱いに関する契約の有無：契約はございません

5) 個人情報に関するお問い合わせ

(ア) お預かりした個人情報の開示、訂正等、利用停止等もしくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、第三者提供の停止、第三者提供記録の開示、その他の問い合わせにつきましては、下記「8. お問い合わせ先」までご連絡ください。

7. 反社会的勢力の排除

- 1) 応募者は、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団員等」という。）に該当しないこと、及び次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。
 - (ア) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - (イ) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - (ウ) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
 - (エ) 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - (オ) 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること
- 2) 応募者は、自らまたは第三者を利用して次の各号の一にでも該当する行為を行わないことを確約します。
 - (ア) 暴力的な要求行為
 - (イ) 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (ウ) 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - (エ) 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて運営者の信用を毀損し、または運営者の業務を妨害する行為
 - (オ) その他前各号に準ずる行為
- 3) 応募者が、暴力団員等もしくは1)各号のいずれかに該当し、もしくは2)各号のいずれかに該当する行為をし、または1)の規定にもとづく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、応募を受け付けることができません。また、応募後にこれらが判明した場合には、審査対象外あるいは受賞取り消しとします。また、賞金等の返還請求を行う場合があります。

8. お問い合わせ先

- 応募にあたってのご質問等については株式会社三菱総合研究所内「第7回日本医療研究開発大賞事務局」までメールにてご連絡ください。お問い合わせ内容の記録のため、原則メールでのお問い合わせにご協力をお願いいたします。
- 株式会社三菱総合研究所「第7回日本医療研究開発大賞事務局」
担当：中井・加納
メールアドレス：jmrda2024-qa@ml.mri.co.jp
電話番号：03-6858-3289

(受付時間：平日 9:30-12:00、13:00-17:00)

※お問い合わせ内容の記録のため、原則メールでのお問い合わせにご協力をお願いいたします。

第7回日本医療研究開発大賞 応募様式【一般枠】

※本様式は【一般枠】の応募様式です。【スタートアップ枠】での応募を希望される場合は専用の応募様式にご記載いただく必要がございますのでご注意ください。

■提出方法
以下URLの「エントリーフォーム」にアクセスし、必要事項をご記載いただくとともに、記入済みの本電子ファイル(Excel形式)をアップロードしてください。

エントリーフォームURL:
<https://mri-project.smktg.jp/public/application/add/20930>

■お問い合わせ先
株式会社三菱総合研究所「第7回日本医療研究開発大賞事務局」
担当:中井・加納
メールアドレス:jmrda2024-qa@ml.mri.co.jp
電話番号:03-6858-3289

1. 基本情報

ふりがな		
応募者名 (企業・団体名、もしくは氏名)		
所在地(住所)	〒 住所	
TEL		
E-mail		
企業・研究室URL(あれば)		
応募種別		

【任意】**【他薦の場合、推薦者の連絡先を以下に記載してください】**

ふりがな		
氏名		
ふりがな		
企業(所属先)名		
役職		
所在地(住所)	〒 住所	
TEL		
E-mail		

2. 推薦者基本情報**【他薦の場合は必ずご記載ください】**

ふりがな		
推薦者名(企業・団体名、もしくは氏名)		
所在地(住所)	〒 住所	
TEL		
E-mail		
企業・団体・研究室URL(あれば)		

3. 応募の内容

事業・業績のタイトル(50字程度)	
事業・業績の概要(100字程度)	

4-①. 事業・業績の主要な成果または先導性について1000字以内で記載してください。

自由記述 (1000字以内)	
-------------------	--

4-②. 当該事業・業績に関わる公開情報があれば、ホームページのURLを記載してください。(2件まで)

自由記述

5. 事業・業績の社会への貢献について、以下の3つの視点からアピールポイントを記載してください。

(審査の際の参考とさせていただきますので、記載の無い欄があっても構いませんが、記載例を参考に可能な限り記入ください)

5-①. 科学技術・学術の振興に寄与した点

自由記述
(1000字以内)

(例)
・革新的なモダリティ開発につながる研究成果
・論文の主要ジャーナルへの掲載事例、被引用件数など学術的な評価を示す情報(後日、必要に応じて論文を提出していただく場合有)
・新たな学会の構築など新たな研究領域を切り開いた事実(研究の革新性や先導性を示す情報)
・企業との共同研究の状況や研究成果が製品化に結びついた事例(間接的な事例でも可)など、研究成果の実用化や社会実装化を示す情報

5-②. 社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に寄与した点

自由記述
(1000字以内)

(例)
・患者数や既存治療など当該領域の医療等ニーズを示す情報
・疾病に対する高い有効性や安全性を有することや診断・治療方法の改善を示す情報
・患者負担の軽減、医療従事者の負担軽減など、社会的価値への貢献度や革新性、先導性を示す情報

5-③. 経済及び産業の発展に寄与した点

自由記述 (1000字以内)	(例) ・上市以降の国内及び海外の市場規模や今後の成長率の見通しに関するマクロ的な情報 ・競合する技術・製品に対する優位性や国際競争力など、日本の産業競争力強化への貢献を示す情報 ・売上金額・数量、市場シェア(国内・世界)の今後10年程度の推移の見込みや今後の当該医薬品・医療機器等(製造基盤技術を含む)の開発に関する展望(対象の適用拡大、仕向地拡大、新規機能の拡充など)など、産業振興への貢献度を示す情報
-------------------	--

6. 当該事業・業績に関わる過去の表彰・認定歴

過去の表彰・認定歴	①年月	西暦 年 月
	内容	
	主催機関名	
	②年月	西暦 年 月
	内容	
	主催機関名	
	③年月	西暦 年 月
	内容	
	主催機関名	

【別紙】会社基本情報(応募者の所属が企業の場合は記入してください)

ふりがな		
応募者名(企業・団体名、もしくは氏名)		
法人番号		
会社設立		西暦 年 月 日
資本金		千円
従業員数		人
所在地(住所)	〒	
	住所	
TEL		
FAX		
E-mail		
企業URL		

主要指標(過去3年分を最新の年を上から順に)

①	決算期	西暦 年 月
	売上高	千円
	経常利益	千円
	純利益	千円
	純資産	千円
	従業員	人

②	決算期	西暦 年 月
	売上高	千円
	経常利益	千円
	純利益	千円
	純資産	千円
	従業員	人

③	決算期	西暦 年 月
	売上高	千円
	経常利益	千円
	純利益	千円
	純資産	千円
	従業員	人

株主構成(比率が合計で100%になるようにしてください)

株主①	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

株主②	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

株主③	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

株主④	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

株主⑤	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

その他株主	その他何名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

候補者本人 ※上位5名に入らない時	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

公的機関からの支援歴

①	期間	西暦 年 月～ 年 月
	支援内容	
	支援機関名	

②	期間	西暦 年 月～ 年 月
	支援内容	
	支援機関名	

③	期間	西暦 年 月～ 年 月
	支援内容	
	支援機関名	

第7回日本医療研究開発大賞 応募様式【スタートアップ枠】

※本様式は【スタートアップ枠】の応募様式です。【一般枠】での応募を希望される場合は別の応募様式にご記載いただく必要がございますのでご注意ください。

■提出方法
以下URLの「エントリーフォーム」にアクセスし、必要事項をご記載いただくとともに、記入済みの本電子ファイル(Excel形式)をアップロードしてください。

エントリーフォームURL:
<https://mri-project.smktg.jp/public/application/add/20930>

■お問い合わせ先
株式会社三菱総合研究所「第7回日本医療研究開発大賞事務局」
担当:中井・加納
メールアドレス:jmrda2024-qa@ml.mri.co.jp
電話番号:03-6858-3289

1. 基本情報	
ふりがな	
応募者名 (企業・団体名、もしくは氏名)	
所在地(住所)	〒 住所
TEL	
E-mail	
企業・研究室URL(あれば)	
応募種別	

【任意】「他薦」の場合、推薦者の連絡先を以下に記載してください

ふりがな	
氏名	
ふりがな	
企業(所属先)名	
役職	
所在地(住所)	〒 住所
TEL	
E-mail	

2. 推薦者基本情報(他薦の場合は必ずご回答ください)

ふりがな	
推薦者名(企業・団体名、もしくは氏名)	
所在地(住所)	〒 住所
TEL	
E-mail	
企業・団体・研究室URL(あれば)	

3. 応募の内容	
事業・業績のタイトル(50字程度)	
事業・業績の概要(100字程度)	

4-①. 事業や業績及びその基礎となる研究開発の革新性(独自性や新規性)について1000字以内で記載してください。

自由記述 (1000字以内)	
-------------------	--

4-②. 当該事業・業績に関わる公開情報があれば、ホームページのURLを記載してください。(2件まで)

自由記述

5. 社会への貢献について1000字以内で記載してください。(国内外の医療の進展、研究開発成果の普及・社会実装など)

自由記述
(1000字以内)

6. 今後の社会への貢献拡大のためのビジョンや、ビジョン達成のためにどのようなことに取り組むかについて、1000字以内で記載してください。

自由記述
(1000字以内)

7. 当該事業・業績に関わる過去の表彰・認定歴

過去の表彰・認定歴

①年月

内容

主催機関名

②年月

内容

主催機関名

③年月

内容

主催機関名

【別紙】会社基本情報

ふりがな		
応募者名(企業・団体名、もしくは氏名)		
法人番号		
会社設立		西暦 年 月 日
資本金		千円
従業員数		人
所在地(住所)	〒	
	住所	
TEL		
FAX		
E-mail		
企業URL		

主要指標(過去3年分を最新の年を上から順に)

①	決算期	西暦 年 月
	売上高	千円
	経常利益	千円
	純利益	千円
	純資産	千円
	従業員	人

②	決算期	西暦 年 月
	売上高	千円
	経常利益	千円
	純利益	千円
	純資産	千円
	従業員	人

③	決算期	西暦 年 月
	売上高	千円
	経常利益	千円
	純利益	千円
	純資産	千円
	従業員	人

株主構成(比率が合計で100%になるようにしてください)

株主①	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

株主②	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

株主③	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

株主④	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

株主⑤	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

その他株主	その他何名	名
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

候補者本人 ※上位5名に入らない時	株主名	
	持株数(株)	株
	比率	%
	備考(続柄等)	

公的機関からの支援歴

①	期間	西暦 年 月～ 年 月
	支援内容	
	支援機関名	
②	期間	西暦 年 月～ 年 月
	支援内容	
	支援機関名	
③	期間	西暦 年 月～ 年 月
	支援内容	
	支援機関名	

日本医療研究開発大賞 公募開始のご案内

日本医療研究開発大賞は、大学、公的研究機関、企業等における医療分野の研究開発やその成果の実用化において、画期的・重要な成果を収める、先導的な取組を行うなど、研究開発の推進に多大なる貢献をした事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の医療分野の研究開発の更なる進展に寄与することを目的とした表彰制度です。「健康・医療戦略(閣議決定)」及び「医療分野研究開発推進計画(健康・医療戦略推進本部決定)」の下、平成29年度より実施しており、今回で7回目となります。

過去の受賞者はこちらをご覧ください > <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/suisin/kaisai.html>

表彰の種類

	表彰名	選定数	表彰対象
一般枠	内閣総理大臣賞	1件	極めて顕著な功績が認められる事例
	健康・医療戦略担当大臣賞	1件	特に顕著な功績が認められる事例
	文部科学大臣賞	1件	科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績が認められる事例
	厚生労働大臣賞	1件	社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進の視点から特に顕著な功績が認められる事例
	経済産業大臣賞	1件	経済及び産業の発展の視点から特に顕著な功績が認められる事例
スタートアップ枠	スタートアップ賞 (健康・医療戦略担当大臣表彰)	1件	スタートアップとして、特に顕著な功績と将来性が期待される事例
	ファイナリスト(奨励賞)	数件	現時点ではスタートアップ賞の水準に達しないものの、将来性が期待される優れた事例

※上記の賞のほか、日本医療研究開発機構(AMED)理事長賞を数件表彰する予定です。AMED理事長賞は、これまでにAMEDが支援を行った事例のうち、若手研究者等を奨励する観点から顕著な功績があった事例を、AMEDからの推薦を踏まえて選考します。

※選考の結果、基準を満たす案件が無い場合には、該当事例なしとする場合があります。また1件あたりの受賞者数は3名(3団体)までとします。

募集
期間

2024年6月17日(月)～
7月31日(水) 17:00必着

応募
先

左記二次元バーコードまたは
下記 URL よりアクセスいただき
ご応募ください。

<https://pubpjtmri.co.jp/publicoffer/20240614.html>

応募資格

	一般枠	スタートアップ枠
医療分野において、研究開発やその実用化 (研究開発のための環境整備、研究開発成果の普及の取組を含む)を行っている法人もしくは個人	○	○
我が国に何らかの拠点があること (我が国において研究開発や製品・サービスの提供を行っていること)	○	○
エントリー時点で、創業または医療分野の研究開発に係る 新規事業立ち上げ後、概ね15年以内の法人または個人であること	—	○

※既に国家栄典(叙勲、褒章)を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。

ただし、中央省庁またはその他の機関(地方自治体、業界団体等)による表彰制度の受賞者は対象となります。

※研究開発の実用化には、人材育成、基盤的な技術の開発、スタートアップ等の事業化支援などの研究開発のための環境整備や研究開発成果の普及の取組を含みます。

※過去の日本医療研究開発大賞受賞者は、同一の事例では各賞の受賞対象とはなりません。

※創業には、社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含みます。

※詳細については、公募案内ウェブサイト(<https://pubpjtmri.co.jp/publicoffer/20240614.html>)からダウンロードできる公募要項をご確認ください。

応募方法

一般枠とスタートアップ枠では応募資格、審査基準がそれぞれ異なります。
公募要項をよくご参照の上、どちらか一つの枠を選択して、応募してください。
自薦・他薦は問いません(他薦の場合は推薦者の情報が必要です)。
詳しくは下記サイトへアクセスしご確認ください。

申込締切

2024年

7月31日(水)

17:00必着

公募案内ウェブサイト

<https://pubpjtmri.co.jp/publicoffer/20240614.html>



エントリーフォーム

<https://mri-project.smkgt.jp/public/application/add/20930>



STEP 1

>>>

STEP 2

>>>

STEP 3

>>>

STEP 4

応募様式 ダウンロード・記入

公募案内ウェブサイト上からダウンロードした「応募様式」に必要事項を記入の上、エントリーフォームにアップロードしてください(郵送による応募は受け付けておりません)。

エントリーフォーム 入力

「エントリーフォーム」(上記URL)をクリックし、必要項目を入力し、「応募する」ボタンを押してください。

項目は「エントリーフォーム入力項目一覧」を参照ください。

エントリー受付

エントリーフォームの「登録する」ボタンをクリックしてください。応募受付が正常に完了した場合は「応募受付完了」メールが送付されます。もし本メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先メールアドレスまでお問い合わせください。

選考

提出書類を元に、事務局及び関係府省による予備選考を経た後、有識者等で構成される選考委員会による審査を経て、受賞者の選出を行います。

選考結果の公表は、2024年冬を予定しています。

お問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所「第7回日本医療研究開発大賞事務局」

✉ jmrda2024-qa@ml.mri.co.jp

☎ 03-6858-3289 (お問い合わせ: 平日9:30-12:00、13:00-17:00)